

発表!

2026.8.3調べ  
※和書のみ 資格本を除く

## 2026年度 分類別貸出ランキング👑

| 分類     | タイトル                                        | 著者名                                         | 請求記号                        |
|--------|---------------------------------------------|---------------------------------------------|-----------------------------|
| 0 総記   | 民俗学入門 (岩波新書：新赤版 1910)                       | 菊地暁著                                        | 080/IR 2                    |
| 1 哲学   | アオアシに学ぶ「考える葦」の育ち方：カオスな環境に強い「頭のよさ」とは         | 仲山進也著                                       | 141.5/N 45                  |
| 2 歴史   | ひとりがいい旅                                     | まろ [著]                                      | 291.09/Ma 52                |
| 3 社会科学 | これからの「正義」の話をしよう：いまを生き延びるための哲学<br>仕事（ワーキング）！ | マイケル・サンデル著；<br>鬼澤忍訳<br>スタップ・ターケル著；<br>中山容他訳 | 311.1/Sa 62<br>366.29/Te 72 |
| 4 自然科学 | 生きること死ぬこと物語ること：終末期医療と倫理                     | 宮坂和男著                                       | 490.15/Mi 82                |
| 5 技術   | 仕事と人生に効く教養としての紅茶                            | 藤枝理子著                                       | 596.7/F 56                  |
| 6 産業   | 21世紀の商学原論講義：経済、商、法の3極思考                     | 柏木信一著                                       | 670.1/Ka 77                 |
| 7 芸術   | かわいい江戸の絵画史 第2版                              | 金子信久監修                                      | 721.02/Ka 93                |
| 8 言語   | 「好き」を言語化する技術：推しの素晴らしさを語りたいのに「やばい！」しかでてこない   | 三宅香帆 [著]                                    | 816/Mi 76                   |
| 9 文学   | 生殖記                                         | 朝井リョウ著                                      | 913.6/A 83                  |
|        | 藍を継ぐ海                                       | 伊与原新著                                       | 913.6/I 97                  |
|        | 汝、星のごとく                                     | 凧良ゆう著                                       | 913.6/N 26                  |
|        | カフェーの帰り道                                    | 嶋津輝 [著]                                     | 913.6/Sh 46                 |
|        | 20代で得た知見                                    | F 著                                         | 914.6/E 27                  |

### ・リレーコラム・

広島修道大学図書館では、資料を『日本十進分類法 (NDC) 第8版』で分類しています。この『NDC』は、資料を「歴史」「自然科学」「産業」「文学」など10の分野に分類し、分野ごとに0から9の数字を振り、その順番に並べていく方法です。

『NDC』は日本の多くの図書館で使われている分類法ですが、分類法はこれだけではなく、このほかにも様々なものが使われています。筆者が以前勤務していた看護専門学校では、「小児」「成人」「老年」「状態別」など看護に特化した10分野に分類する独自の『看護学図書分類表』を使用していました。

また、いにしへの中国の清時代には『四部分類』といって書物を「経」(儒教)・「史」(歴史)・「子」(諸子百家 (中国の思想家))・「集」(文学)の4つの分野に分類していました。

近年の書店や公共図書館では、新たに『ライフスタイル分類』といった分類もされているようです。ある書店では「ユーチューバー」「昭和ノスタルジー」「役に立たない人生相談」などの項目で分類されていました。

このように、資料の分類は利用する人々の使いやすさを考慮して工夫されています。

さて、みなさんなら、どんな分類方法で本棚に図書を並べますか？

いしだ  
(石田)



表紙モデル：商学部 2年生  
たつひろ・しょっぴー

🎤 今日は何しに図書館へ？

テスト前の勉強にきました

🎤 図書館で好きな場所は？

閲覧室4が好きです

🎤 特に一番奥の窓の大きなスペースが気に入っています

🎤 図書館のおすすめポイントは？

畳スペースや研究個室です

🎤 職員さんが優しく対応してくれるところです！

図書館の開館時間は  
ホームページでご確認ください。

発行・編集：広島修道大学図書館 発行日：2026年10月1日

〒731-3195 広島市安佐南区大塚東一丁目1-1  
TEL：082-830-1112 FAX：082-830-1964  
URL：https://library.shudo-u.ac.jp/  
E-mail：tosh@js.shudo-u.ac.jp

次号は  
2027年  
4月1日  
発行予定です

ここから  
図書館の  
ホームページへ  
アクセス  
できます



あなたと図書館をつなぐ情報誌

# BOOKMARK

第22号

2026/10/1

[ブックマーク] TAKE FREE



CONTENTS

2

特集1  
図書館ピア・サポーターと  
図書館アルバイトのお仕事

6

特集2  
ディスカバリーサービス (EDS) を  
使いこなそう!

連載

8 この本にブックマーク!  
10 イベントブックマーク

12 教員エッセイ…平下 義記

14 職員エッセイ…廣瀬 和美

16 ランキング/リレーコラム/プチ・インタビュー

広島修道大学図書館

# 図書館ピア・サポーターと 図書館アルバイトのお仕事



図書館では日々多くの学生スタッフが活躍しています。

図書館ピア・サポーターと図書館アルバイトの学生に仕事の紹介をしてもらいました。



## 図書館ピア・サポーター (通称：図書館ピア)

### 新人ピア研修、前期・後期開始前研修

研修で図書館の使い方やピアの活動について教わります。



図書館ピアのみんなと仲良くなれるといいな

### フロアサポート

いよいよ活動スタート！  
みなさんの図書館利用をサポートします。

#### 書庫の利用受付

2階カウンターで受付。  
書庫の案内もします。



#### PC 操作フォロー

印刷方法がわからなかったら聞いてくださいね。



#### 資料検索補助

探している資料をOPACで検索、配架場所へ案内します。



### ピア・ミーティング

月に2回、お昼休みに集まって、企画の相談や情報共有をしています。

おすすめ本展示のテーマが決定！  
協力して選書をするようになりました。



## ピア・プロジェクト

学生の目線で、よりよい図書館づくりをめざして、さまざまな活動をしています。

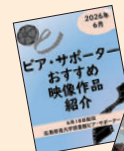


### Instagram

週2回を目安に図書館のお役立ち情報を配信しています。内容を相談して、配信ごとに担当者を決めて準備していきます。

### おすすめ本展示

みんなで飾り付け♪  
借りてもらえるといいな



リアル動画も作成！



## インタビュー

### 答えた人

人文学部2年  
めい えんしん  
梅 元馨さん



人文学部2年  
ほん こばらみやび  
盆子原 雅さん



Q 図書館ピアになろうと思ったきっかけは？

A 図書館ピアに自動貸出機の使い方を教えてもらったことがあり、同じ学生として私も利用支援をする仕事がしたいと思いました。(梅さん)

友人に誘われて募集説明会に参加したのがきっかけです。人のお世話をするのが好きな自分に合っていると思い、応募しました。(盆子原さん)

Q 図書館ピアをして良かったことは？

A 問い合わせに答えて「ありがとう」と言ってもらえたことです。新聞や雑誌記事をデータベースで検索する方法も学ぶことができました。

利用者に思いやりをもって接する姿勢を身につけられ、図書に関する知識が増やせることです。

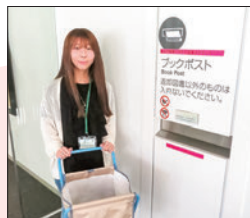
✦ みなさんに快適に過ごしてもらえるとうれしいです。  
✦ 気軽に声をかけてください！

## Case 2

## 図書館アルバイト

### 返却図書の回収

学内3か所（図書館2階入口、図書館M2階、  
教学センター）にあるブックポストへ。ブックカート  
を持っていき、返却された図書を回収します。



### 配架

返却処理の終わった図書を配架します。  
請求記号をよく確認し、図書が迷子に  
ならないように慎重に並べていきます。  
同時に返却台にある図書も回収します。



配架の仕事は  
空きコマを有効に  
活用できますよ！

### カウンターの仕事

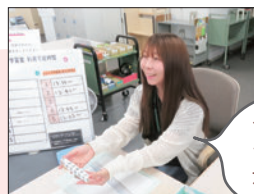
夜間や土日は、返却カウンターで返却の仕事も  
します。分からないことや困ったときは先輩や  
職員に教えてもらいます。コツコツと作業を  
進めるのが好きな人におすすめの仕事です。



初日はドキドキ  
しました！

### 館内施設の利用対応

研究個室やグループ学習室の利用受付、  
書庫の案内等も仕事のひとつです。  
利用者からの問い合わせで、資料検索の  
サポートもします。



丁寧な説明と  
笑顔を意識して  
対応しています。

### 開館・閉館の仕事

開館前は掃除をして利用者が快適に利用  
できるよう環境を整えます。  
閉館前には館内放送を行います。  
館内の見回りをして翌日に備えます。



## インタビュー

### 答えた人



健康科学部3年 うしろ まい 後路 真衣さん



人文学部3年 新田 素己さん

Q 図書館アルバイトをやってみようと思ったきっかけは？

A 小さいころから本を読むことが好きで、本に携わる仕事をしてみたいと  
思ったことがきっかけです。（後路さん）

本を借りたとき丁寧に利用方法を教えてもらったのがきっかけです。  
（新田さん）

Q 図書館で働いてみて良かったことは何ですか？

A 業務でさまざまな本に触れる中で、新しい本との出会いが増え読書の幅が  
広がったことです。

すきま時間をうまく使えていることと、読みたい本が増えていること  
です。

「図書館アルバイト」と「図書館ピア・サポーター」の  
募集説明会は毎年11月～12月頃行います。  
詳細は図書館ホームページに掲載予定です。  
興味のある方はぜひご参加ください。  
お待ちしております！



# ディスカバリーサービス (EDS※) を使いこなそう!



※正式名称 EBSCO Discovery Service

## EDS ってどんなサービスなの?

- 1つの窓から国内外の学術情報資源を横断検索することができます。

検索したい内容が、おおよそ決まっているときに  
オススメの検索方法です。

- 学術専門誌・査読あり等で絞込み検索ができます。
- 学内ネットワーク・VPNでの接続後、使用することができます。

### VPN 接続とは

学外から広島修道大学図書館が契約しているデータベースを使用できるようにする仕組みです。



## 入手方法を検索しよう

EDS から広島修道大学図書館の OPAC や CiNii にアクセスできます。  
その他、サイトで全文を探ることができます。

色々なボタンをクリックしてみよう!



この資料の入手方法をご案内します

大学・他館の所蔵を調べる

[広島修道大学OPACを検索](#)

[CiNii Research](#) [CiNii Researchで論文を探す \(誌名検索\)](#)

[CiNii Research](#) [CiNii Researchで論文を探す \(論文タイトル検索\)](#)

[CiNii Books](#) [CiNiiBooksで所蔵を探す](#)

その他のサイトで全文を探す

[Google Scholar](#) [論文タイトルで検索する](#)

[Google Scholar](#) [著者名で検索する](#)

[Google](#) [論文タイトルで検索する](#)

[IRDB](#) [IRDBでタイトルを検索する](#)

[IRDB](#) [IRDBで著者名を検索する](#)

## EDS まめちしき

「類似の論文・記事」をクリックすると、EDS が独自に抽出した論文・記事を見ることができます。  
思いもよらない論文も見つかるので、「類似の論文・記事」タブがあれば一度クリックしてみるのもおすすめです。



## VPN 接続をするには

図書館ホームページか、図書館2階レファレンスカウンターで申し込みをしてください。※学内者専用サービスです。



このタブをクリックしてから  
キーワードを入れてね



ここで絞り込みが  
出来るよ



使用していてわからない・困ったことがあったら図書館2階レファレンスカウンターまで!



## 教員が選ぶ 学生みなさん おすすめの1冊



学生みなさんにおすすめしたい1冊を、7学部の先生方にご紹介いただきました。先生方から図書を通して、皆さんの人生を豊かにするヒントが贈られています。紹介されている本は、図書館2階ミニ展示コーナーで展示しています。みなさん、ぜひ手に取って読んでみてくださいね！

### 『創造の方法学』

高根正昭著  
講談社  
請求記号：080/K 講談社現代新書；553



世の中の様々な問題（現象）に対し「どのように分析すればいいか」丁寧に説明した本です。社会現象を本質的に理解したい学生におすすめです。

商学部

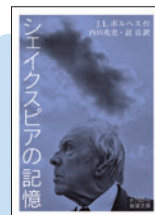
高田 裕 先生

ご専門は国際金融論



### 『シェイクスピアの記憶』

J.L. ボルヘス作；内田兆史，鼓直訳  
岩波書店  
請求記号：080/I-R 岩波文庫；赤 (32) -792-10



アルゼンチンが生んだ世界的巨匠ボルヘスが、記憶や夢、不死といった主題を幻想的に描いた宝石箱のような短編集です。

人文学部

佐川 昭子 先生

ご専門はシェイクスピア



### 『ヨーロッパとは何か』

増田四郎著  
岩波書店  
請求記号：080/IB 岩波新書；青-636 (D14)



ひとつの文明の舞台としての「ヨーロッパ」の成り立ちについて、遠大な見通しを与えてくれる一冊です。60年近く昔の本ですが、ときには古い本を紐解いてみるのもよいのではないのでしょうか。

法学部

渡辺 理仁 先生

ご専門は西洋法制史



### 『物価とは何か』

渡辺努著  
講談社  
請求記号：337.81/W 46



「原油高がインフレを招く」という常識を疑い、物価の仕組みを解き明かす一冊。ニュースの見方が変わります。

経済科学部

中西 正 先生

ご専門は経済統計学



### 『人口減少社会のデザイン』

広井良典著  
東洋経済新報社  
請求記号：364/H 71



もはや止められない人口減少の中でどのように持続可能な社会を築いていくのか、この本はAIを活用した最先端の研究からヒントを与えてくれます。

人間環境学部

三苫 春香 先生

ご専門は資源エネルギー論



### 『生成と消滅の精神史 終わらない心を生きる』

下西風澄著  
文藝春秋  
請求記号：114.2/Sh 54



絶えず生まれ、消えていく心。本書は学問の垣根を超え、「こころとは何なのか」、「私達はどう生きてきたか」を改めて考えることのできる1冊です。

健康科学部

藤川 卓也 先生

ご専門は臨床心理学



### 『「悪くあれ！」 窒息ニッポン、 自由に生きる思考法』

モーリー・ロバートソン著  
スモール出版  
請求記号：304/R 52



日本社会の息苦しさ問い直し、常識に縛られない発想を持つ勇気をくれる本です。広島修道大学にもゆかりのあるモーリー・ロバートソンさんの遺作です。

国際コミュニティ学部

隅田 姿 先生

ご専門は教育開発



## 展示コーナー



### 好奇心のその先へ

期間：2026年 4～6月

主に新入生のみなさんを対象に、好奇心が刺激されるようなおすすめの図書をたくさん集めました。



### スキルアップ!ブラッシュアップ!! ステップアップ!!!

期間：2026年 7～11月

みなさんの可能性を広げられるように、さまざまな分野の図書を展示しています。



『まずは「聞く」からはじめよう  
—対話のためのディベート・レッスン—』

ポー・ソ著；川添節子訳  
早川書房  
請求記号：809.6/Se 76

## ピア・サポーター展示コーナー

5～6月は、ほっと一息つけるような図書や、気分転換にぴったりの図書を展示しました。  
7月からは、涼しく爽やかなイメージを連想させる「青」に関する本を揃えました。

5～6月「リフレッシュ」

7月～「青」



## ミニ展示コーナー

「あん」にまつわる図書や文学界や経済界などの「受賞作品」を展示しました。

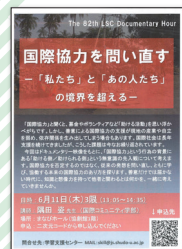
修大春のあんまつり

受賞作品展示



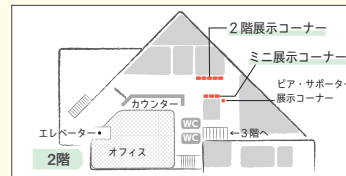
LSCドキュメンタリーアワー関連展示

6月11日に開催された  
第82回LSCドキュメンタリーアワー  
「国際協力を問い直す—「私たち」と「あの人たち」の境界を超える—」に  
関連する図書を展示しました。



### 図書館2階・各展示コーナーのご案内

2階展示コーナー、ミニ展示コーナー、  
ピア・サポーター展示コーナーは  
年に数回展示内容を替えています。  
これからも様々な展示をする予定ですので、  
図書館にお越しの際はぜひお立ち寄りください。  
(貸出は学内者限定です。)



## 図書館を使い倒そう

商学部  
ひらした よしのり  
平下 義記



2026年4月に商学部の新任教員として着任した平下義記と申します。専門分野は日本経済史で、近世後期から明治期にかけての豪農層の地域貢献を主題とした研究をしています。大学教員は、というよりも学生も含めて大学関係者は、図書館を欠いては自由な学問活動をおこなうことができません。そのため、「図書館を使い倒す」ことが、私の教育研究活動において中心的な位置づけにあります。

少し具体的に説明してみましょう。教員の仕事は教育と研究に分かれます。教育に関して講義準備を紹介します。2026年度は新任年度ということもあり、従来担当したことの無い講義として、「日本流通史」と「経営史」の2科目を担当しています。ゼロ・ベースで準備をするわけですが、それぞれ、200~300冊の参考文献を読み込んで授業資料を作り上げる必要があります。

これだけの数の文献を個人で集めるのは、経済的・物理的に不可能です。何にせよ、

専門的文献というのは高価で、すでに市販されていないものも多いです。また、2科目だと400~600冊になりますが、それらを個人的に集めると、研究室の配架スペースは1年で埋め尽くされることになるでしょう（そしてお給料のほとんどは消し飛ぶでしょう）。

そこで役に立つのが図書館です。図書館では、各学問分野に即した基礎的で重要な文献を網羅的に収集・所蔵しています。そのため自分で文献収集をしなくても、一定の文献の集まりのなかから必要なものをピックアップできるわけで、仕事を効率的にまわすことができます。なにより、経済的な負担がありません。

このような図書館のもつメリットは、研究においても有効です。実は、私は、現在進行中の話として、専門的な単著を執筆中です。単著の序章においては、自分の研究を従来の研究のなかに位置づけ（これを「先行研究の整理」とよびますが、ここでは覚えなくもよい話です）、どの

ような独自性や創造性があるのかを説明する必要があります。したがって、少しでも関連しそうな文献については、直接引用しないにせよ、ひととおり読み込まなければいけないわけです。

専門家であれば誰でも知っている文献ならば問題ないのですが、難しいのは、「あまり知られてはいないけれど実は自分の研究に関わっている文献」にどうやってアクセスするのか、という点です。「知らないものは探しようもない」という問題と言い換えてもいいかもしれません。

図書館は、ここでも役に立ってくれます。図書館では、文献を主題に即して規則的に配架しています（これを「日本十進分類法」といいます、これはとても大事です、覚えてください）。ある本Aを探して該当する書架の前に行くと、Aと同じないし近いテーマの文献B、Cも同じ書架に配架してあるわけです。そうすると、「知らないもの」としての文献B、Cも目に入ることになります。そして、それが自分の研究に

関わっていることが多いのです（本当に）。

さらに図書館には、レファレンス機能もあります。「こういうことが知りたいのだけれど、具体的に何を調べたらそれが分かるのかが分からない」という状況に陥ったときに使えるのが、この機能です。私が卒業論文を書いたとき、今を遡ること約20年前になりますが、レファレンス担当の職員さんのおかげで、何とか書き上げた記憶があります。その方が必要な情報を含む先行研究をピックアップしてくれたことで、研究活動のスタート地点に立つことができたのです。

以上のように、教育・研究の両面において、図書館は死活的に重要な役割を果たしています。言い方を変えますと、「図書館を使い倒せば何でもできる」ということです。学生の皆さんも是非図書館を「使い倒せる」ようになって、より有意義な学問活動ができるようになってほしいと思います。

## インターネットがない時代の 図書館

図書館  
ひろ せ かず み  
廣瀬 和美



4月から広島修道大学に採用いただいた。オールルーキーの折角の機会なので、昔の図書館について思い出を語りたい。

1989年（平成元年！）大学入学からスタートする。

当時の学生は図書館をよく利用していた。図書館に行かなければ利用できないものが多かったからである。なにしろWindows95以前。インターネットがないどころか、パソコンも珍しかった（もちろんスマホもない）。

図書館は、辞典をつかうときと論文を探すときに利用することが多かった。

日本史を専攻していたので、予習には『国史大辞典』、『大漢和辞典』、『日本国語大辞典』が必須であり、毎週、図書館へ通っていた。ただし、わざわざ図書館まで行ったのに、必要な巻が利用中ということもよくあった。

そもそも、図書館に求める図書があるかどうか調べるため、図書館へ行く必要があった。現代のようにインターネットで蔵書検索などできないからである。私に与えられた検索手段は、蔵書のデータベースにつながった専用パソコンか、カード目録の二択であった。

パソコンといっても現代のOPACとは全く異なる。見た目から別物で、画面に日本語が

ない。手引きを見ながら英数記号のコードを打ち込み、リターンキーを叩くと画面に変化があるのだが、表示も英数記号なので、結局何がヒットしたのか皆目見当がつかず、外国語が苦手な私は早々にあきらめた。

よって、常用していたのはカード目録である。カード目録は、文庫本サイズのカードに図書情報が記載されており、書名、著者名、分類の3種類の順番でそれぞれ並んでいた。見出しがアルファベットだったので、外国語が苦手な私は、書名と著者名で調べることは早々にあきらめ、辛うじて数字の分類カード目録が頼みの綱であった。とりあえず関係ありそうな図書がある書架まで行って背ラベルの分類番号を控え、目録コーナーに戻り、その数字によりカードを繰った。今では語るも恥ずかしい手法だが、こうした作業により少なくとも日本十進分類法には精通することができた。

そして、所属大学になれば他大学から取り寄せることになる。雑誌の場合は、『学術雑誌総合目録』により、雑誌名ごとに、どの大学がどの巻号を所有しているか調べることができた。これにより所蔵大学が判明したら、論文1本ごとに3枚複写の申込書に記入し、カウンターへ提出するのである。

図書の場合は、大規模大学は冊子体の蔵書目録を発行していたので、これらを端から調べることになる。自分の求める図書が、いずれの大学で所蔵しているのか見当をつけ目録のページをめくる。なければ、次の大学を調べる。なければ次の…といった作業を繰り返さなくてはならなかった。自然と各大学の蔵書の特徴を覚えていった。

さて、時は流れ2026年（昭和から満100年！）である。

図書館界限は様変わりし、複数の辞典を「JapanKnowledge Lib」のようなデータベースを使うことで図書館に行かずとも、横断検索できる。文献複写等申込は図書館ホームページの「マイライブラリー」から、いつでもどこでも可能だ。蔵書検索はオンラインのOPACに取って代わり、他大学蔵書もCiNiiに代表されるデータベースでまとめて検索できる。そもそも、論文本文のデータがインターネット上で公開されているではないか！？

図書館は、サービスの主軸を、目録整理からデータベースの紹介や検索の仕方といった利用支援に移行していったが、それすらも今は、EDS（ディスカバリーサービス）にキーワードを入力すれば、図書もデータベースもあわせて

適切な資料がヒットするし、生成AIは、キーワードを考えなくても会話のように質問文を入力すれば、回答を与えてくれる。

私の図書に対する愛着と、試行錯誤し身体で覚えたノウハウは今でも役に立っている。

しかしながら今後は、思い出を、懐かしむためだけでなく図書館の新しい存在意義に活かしたいと思っている。

昨今、図書館が注力しているのが、先にも書いた利用支援であり、本学もガイダンス等を実施している。また、学生自身が活躍できる環境の活性化も役割の一つであり、ピア・サポーターや学生アルバイトが活動している。他にも、学生の居場所や出会いの場になることも可能だ。これまでの図書との出会いに加え、学生同士や教員、地域の方との交流により、新たな情報・体験と出会うことができれば、もっと図書館に行きたくないだろうか？

かつての、図書館に足を踏み入れたとき、新しいページをめくったときのようなワクワク感がどうすればもう一度味わえるのか、新しい職場で夢見続けたい。